

# 滋賀建設会だより

第6号

## ご挨拶

滋賀建設会会長

堀井信幸



平成28年8月5日に開催されました、滋賀建設会総会で会長に就任いたしました堀井です。よろしくお願ひします。

私は、昭和53年に立命館大学理工学部土木工学科を卒業し、大津市役所に入りました。道路、土地区画整理、下水道など、いろいろな部署で、貴重な経験をさせていただきました。平成28年3月に定年退職しましたが、引き続き瀬田支所に勤務しております。

新会長として、立命館大学を卒業された皆様方と、有意義な意見交換として総会・懇親会・研修会など企画していきたいと考えています。今後とも本会の事業にご協力をお願いしますとともに、ご指導ご鞭撻をよろしく願ひします。

## これから

滋賀建設会副会長

守岡卓蔵



現在県庁道路課幹線高速道路推進室長としております。

大学では大同氏の木工でした。小沢氏の水理に行こうと思っていたのですが、悪い？仲間に誘われて木工を希望してしまいました。同じ研究室の者たちとの交流は今も続いています。公務員、民間、自営と様々な職種の者、そして、東京・大阪・兵庫・和歌山・広島など各所から大阪や京都に集まるのですが、会話の中では学生の頃の話から近況まで様々なことが話題になります。特に最近では、50代後半になったことで、健康のことが話題になります。老眼がすごいか、すぐ太るとか、悩みを発散しているような感じですが、たわいのないことが多いのですが、気分転換にはなるような気がします。皆さんもこんな集まりをされているかと思いますが、横のつながりはなかなかないので、大事にしていきたいと思ひます。

と河川関係を担当してましたけれども、それから、主に道路関係の仕事に携わっております。途中、3回の出向を経て、現在に至っております。最近では、調整業務が多く、利害相反する相手方それぞれに対して、ご理解を頂けるよう、日々対応しております。

①配属先で仕事を吸収する  
自分が希望した部署に配属されなかった時、少し気持ちが落ち込むかもしれませんが、これはまたないチャンスなのです。チャレンジしましょう。そして、自分の仕事だけではなく、ほかの人がやっている仕事に興味をもってすべてを吸収するつもり取り組んでみてください。きつといいことが待っていると思ひます。

②上司の立場で考える  
上司のように振る舞うのではなく、「課長だったらどうするだろうか」などと考えて、仕事に取り組んでみてください。担当者として仕事をしているときには見えてこないものが見えてくるかもしれません。若手の皆さんが将来、管理職となったとき、思い返して考え方を比べるのも自分の成長を実感することになると思ひます。くれぐれも参考にしてください。よい見本となる人を選んでください。また、いろいろな人のよいところ取りでもいいです。

③自分を捨てる  
精神的な話ではなく、自分を押し出す時にも必要ですが、多くの場合それだけでは物事は解決しません。若いころは経験のない中でいろいろな困難に直面し、ひとつずつ乗り越えてくるわけですが、一歩引いて広い視野で物事を見る、俯瞰してみると案外面白いので、一度やってみてください。

④基本に戻る  
年数を重ねてくると基本的なことに付け加えて、応用についても数多く経験します。しかし、応用は、基礎的なことに基づいています。

で、迷ったときは、時々思い返して、「この場合の基本手なんだっけ」「どの法律の何条を適用するのかな」と考えてみると解決策が浮かんでくることもあります。

⑤悩まない  
仕事や家庭など悩みはどこにでも存在します。ラビリンスに入るとなかなか抜け出せません。悩みの多くは、まだ起こってないことをさも起こったかのように捉えて、大変なことになったどうしようと思ってしまうのです。悩みの90%は起こらないとも言われています。事前の準備は大切ですが、考えすぎないようにしましょう。悩むのはもったいない。建設的でないですから。

思ったことをつらつら書きましたが、最後に、この「たより」ですが、10月ごろに編集しようと思っていたのですが、サボっていました。すみません。皆さんのご協力、発行できたことを感謝いたします。

(合掌)

## 建設会と大津市

滋賀建設会副会長

小嶋忠敏



副会長の津市企業局下水道整備課の小嶋と申します。

堀井会長（大津市）を盛り上げて参りますので、ご協力をお願いいたします。

さて、大津市も下水道普及率（汚水）は98.3%となり、ほぼ、概成を迎えています。

今後、約1,450kmの管渠と水再生センター（汚水処理場）のストックを効率的に維持管理・更新して、持続的な事業を目指すことが課題となっております。

また、滋賀建設会の課題につきましては、大津市にはわだつみ会という校友会（土木系）がありますが、滋賀建設会への参加が2割程度にとどまっており、少しでも若手に参加してもらおうと頑張っております。

今年の目標

- ストレスを溜めないこと
- ① 適度の息抜き（銭湯へ行く、マッサージ（整骨院）に行く、晩酌をする）を行う
- 太らないこと（最難関）
- ② 適度に運動する。（自転車に乗る、ジムに行く、階段で6階まで上がる）
- ③ 適度な飲み食い（〇〇放題には行かない）

## ◆新会員の紹介◆

今年度新規に滋賀建設会の会員になられた方をご紹介します。

北村 竜希さん

滋賀県企業庁施設整備課

私は企業庁施設整備課に所属しています。企業庁は市町や工場に水道水を送る機関であり、その中で私は主に水道管工事等の監督業務を担当しています。

働き始めた当初は水道や工事の流れ等の知識が全く無い状態で、また、私は新卒採用で社会経験が無かったため不安と心配でいっぱいでした。最初に担当を任せられた工事は弁室改良工事というもので、数か所の角型の古いマンホールを丸型の新しいマンホールに改良するという工事です。

しかしこの工事は施工範囲が小さく人気が無い工事なのか、3回の発注をもってしても応札が無く、工期的に間に合わなくなってしまうため年度に持ち越すこととなりました。こんなことは滅多に起こることはないと言われ、これも良い経験だと思っております。現在は配水管を移設する工事を担当しています。実質、これが初めての工事であり、これからの不安はありましたが、やはり工事が決まった時は嬉しさと安心がありました。

今年度は、ブラザー、また周りの先輩職員の方々に何から何まで教えて頂き、何とか仕事をこなすというようなかたちでしたが、来年度はより一層自分で考え行動する能力が求められます。

まだまだ分からないことはたくさんありますが、少しずつ経験を積み重ねていきたいと思います。

# 柴田 直輝さん

滋賀県南部土木事務所  
道路計画課計画係

近状報告としては、やっと仕事に慣れ始めたところです。  
入庁当初は、なにがわからないのかもわからず、初めて聞く単語を検索する毎日が続きました。特に住民方からの指摘、要望に対しては、私自身が新規採用者という言い訳は通用しない世界であるので、とても苦労しました。その中で、大切だと感じたことが数点あります。

それは、住民の目線に立つことです。普段、道路の維持補修に携わっているのですが、今までは道路に草が生えていたり、水溜まりがあったりしても見て見ぬふりをしていたのですが、住民の方と一緒に現地を歩くことにより、具体的にどのような困っているのかを知ることができ、またそれを他の現場で生かすことができるようになってきています。住民の方のご指摘があつてから動き出すのではなく、自分から道路の修繕箇所を見つけ出し、より良い通行環境を提供できるような職員になりたいと思つていきます。

私個人で1年目ながら数本の工事現場の監督をさせていただいているのですが、業者、地元、関係機関と協議も数多く、通行規制の仕方一つでも住民の方々も目は厳しく、ご指摘を受けることもあり、反省することも多々あります。

何よりの悩みは技術的な部分で知識が不足していることです。工事を発注する際の積算にも非常に苦労しました。当初は、与えられた数量や図面をもとに発注を行っており、中身をあまり理解できていません。積算等を行っていました。しかし、業者にとつては仕事が取れるかどれないかの大事な設計書です。業者からの質問回答でうまく答えることができず、結局、上司や先輩に頼っていました。自分自身がこの発注で何をどうしたいのかという強い思いを持ち内容を理解したうえで、業務等に望まなければならぬと痛感しました。現在は、上司や先輩方が、優しく

教えてくださるので、何とか業務をこなせているような状態ですが、間もなく入庁から一年が経過します。数年後にはわからないでは通用しなくなりそうですし、次年度から新たに後輩もできる時期となりますので、残りの数カ月で聞けることはできるだけ、聞き自分の知識とし、後輩にこの一年間の経験を教示できるようになりたいです。

\*\*\*\*\*

# 壺井 克弥さん

滋賀県土木交通部  
流域政策局流域治水政策室  
流域治水第二係

私の職場は「滋賀県 土木交通部 流域政策局 流域治水政策室 流域治水第二係」です。

担当している業務の内容としては、滋賀県の進める流域治水の推進や水害に強い地域づくりのため、地元に入つて取組を進める業務をメインで行っています。また、その一環として『立命館大学 防災まちづくり研究室』と連携で行っている過去の水害履歴の調査に関しては、同大学・同研究室出身ということを活かして担当を任されています。他にも、水害に対する啓発や流域治水の推進のための出前講座などの業務や、今年度で第10回目を迎える淡海の川づくりフォーラムの担当なども行っています。

現在の仕事に関しては、大学1回生の時に、学科の内容と自分の性格から漠然と公務員になることを考えていました。現在の所属になったのは偶然ですが、学生時代に携わった所属なので、意向調査の際に名前をあげました。学生時代から顔見知りの方々が多かったこともあり、とても働きやすい雰囲気です。

大学時代は『過去の水害経験が住民の避難行動に与える影響に関する研究』というテーマで卒業研究を行いました。現在の職場である滋賀県流域治水政策室と協働で行っていた『水害履歴調査』から発展し、調査を行った地域を対象に実施した研

究です。  
これからは、一年経つにつれ、一つ成長した姿で仕事をこなせるようになることを目標としています。この一年間は新採職員ということで、職場の先輩や上司の方々の仕事の仕方はとても参考になりました。自分もその先輩方のように仕事ができるようになることが、ちよつとした将来の夢と思っています。最後に、自分の趣味を紹介すると、メジャーな映画を見るのが好きです。特に映画館に行つてみるのが好きです。

\*\*\*\*\*

# 長谷川 駿伍さん

滋賀県大津土木事務所  
道路計画課計画係



①今の職場を希望した理由  
社会インフラの重要性を感じ、その整備や維持に関わる仕事があったため。

②今の職場の雰囲気・様子  
非常に活気があり、熱心に指導してくださる方が多い楽しい職場です。

③大学での卒研テーマ  
ビエンチャン市に設置された嫌気バツフル槽 (ABR) の生活排水処理特性

④総会に参加した感想  
県の職員に同郷出身者が非常に多いことに驚きました。

⑤これからの抱負  
様々な業務を積極的にを行い、早く一人前になれるように精進します。

⑥趣味  
御朱印集め、美術鑑賞、フットサル、旅行



\*\*\*\*\*

# 樋上 雄貴さん

滋賀県南部下水道事務所  
湖南中部施設管理係



①現在担当している仕事  
下水処理場・下水道管渠の維持管理業務

②今の職場を希望した理由  
大学では土木のことだけではなく環境についても学んでいたため、今の職場が最適であると考えたためです。

③今の職場の雰囲気・様子  
下水道事務所は行政職・土木職の方だけでなく電気職・機械職・化学職の方もおられるため、多種にわたつて非常に勉強になる職場であると思えました。

④大学での卒研テーマ  
リンや窒素が付着し環境汚染の原因の一つとなる浮遊砂の、効率よく回収できる方法を研究していました。

⑤総会に参加した感想

私用で参加できなかったので今回は参加したいと思えます。  
⑧これからの抱負  
下水道施設の維持管理に必要な知識をつけ、下水道の健全な運転に貢献していきたいです。また、要領よくかつ正確に仕事を進められるよう工夫していきたいです。

\*\*\*\*\*

# 一貫田 悟司さん

大津市建設部道路管理課



\*\*\*\*\*

私は大津市都市計画部開発調整課に所属しています。  
大学時代は滋賀県で起きた過去の水害履歴について調査していましたが、今は大津市の市街化調整区域における都市計画法に基づく開発行為や宅地造成等規制法における造成行為の相談や申請者の許認可業務、またそれらに係る完了検査などといった仕事を行っています。  
働き始めた当初はあまり都市計画に関する知識がなく、工事の現場での経験もなかったため開発について相談を受けてもどのように指導すれば良いのかわかりませんでした。他の職員の方に教えを受け、工事の現場に連れて行つていただき、少しずつではありますが開発について指導ができるようになってきました。  
開発行為や造成行為は正しい指導ができないと災害を引き起こし、現場近隣住民の方が被害を受ける可能性があります。そのような事態を引き起こすことのないように経験を積み、指導ができるようになっていきたいと考えています。



大津市に勤務してからは、もうすぐ3年になりますが、現在は道路管理課で橋梁の維持管理を担当しています。  
大津市が管理する橋梁は1,000橋を超えており、高齢化橋梁の増加に伴う橋梁修繕・架替に係るコストの増加が今後の課題です。橋梁の補修工事では、コンクリートや伸縮継手

等の補修、その他色々をしています。当方の技術力不足もあり、苦戦を強いられる毎日ですが、成長するには良い機会だと思ひ、毎日の仕事に一生懸命取り組んでいます。今後とも皆様よろしく願ひいたします。

\*\*\*\*\*

# 鈴木 翔太さん

大津市都市計画部  
開発調整課



私は大津市都市計画部開発調整課に所属しています。  
大学時代は滋賀県で起きた過去の水害履歴について調査していましたが、今は大津市の市街化調整区域における都市計画法に基づく開発行為や宅地造成等規制法における造成行為の相談や申請者の許認可業務、またそれらに係る完了検査などといった仕事を行っています。  
働き始めた当初はあまり都市計画に関する知識がなく、工事の現場での経験もなかったため開発について相談を受けてもどのように指導すれば良いのかわかりませんでした。他の職員の方に教えを受け、工事の現場に連れて行つていただき、少しずつではありますが開発について指導ができるようになってきました。  
開発行為や造成行為は正しい指導ができないと災害を引き起こし、現場近隣住民の方が被害を受ける可能性があります。そのような事態を引き起こすことのないように経験を積み、指導ができるようになっていきたいと考えています。

\*\*\*\*\*

# 近況報告

事務局 川又英史

事務局より滋賀建設会総会から平成28年12月までの近況の報告をいたします。

まず、平成28年8月5日に琵琶湖ホテルにて滋賀建設会総会・懇親会をおこないました。大学より持田先生、岡井先生、建設会、建立会、京都支部、奈良建設会より会長様、役員様に出席いただき50名を超える参加者で盛り上がる事ができました。

平成28年度新役員をご紹介します。

会長 堀井 信幸 (昭和53年卒)

副会長 田中 伸明 (昭和56年卒)

守岡 卓蔵 (昭和60年卒)

小嶋 忠敏 (昭和63年卒)

西村 善博 (昭和49年卒)

服部 善由 (昭和50年卒)

運営委員 南部 安賢 (昭和53年卒)

木村 幹彦 (昭和57年卒)

友田 昌良 (昭和60年卒)

中江 政善 (昭和62年卒)

多賀 浩政 (平成10年卒)

山田 千尋 (平成11年卒)

門脇 広和 (平成13年卒)

村田 康行 (平成14年卒)

学年連絡委員 山本 一正 (昭和51年卒)

稲葉 実 (平成6年卒)

足立 憲悟 (平成11年卒)

北川 一哉 (平成11年卒)

松岡 友香 (平成13年卒)

玉木 慎 (平成20年卒)

谷 洋佑 (平成21年卒)

菅森 悠馬 (平成26年卒)

事務局 川又 英史 (平成5年卒)

松延 宏昭 (平成6年卒)

が参加いたしました。総会では愛知県衣笠会の桑山忠さん(昭和39年卒)が新会長に選任されました。また、滋賀建設会から石田良明相談役より支部活動を報告していただきました。懇親会では昭和24年卒の奥村一様が乾杯の音頭をとられ、その元気に驚き、楽しい時間を過ごしました。

平成28年11月11日に第2回現場見学会を開催いたしました。滋賀県危機管理センターの施設を見学し、防災講座を傾聴しました。講座では滋賀建設会の山田千尋さん、壺井克弥さんが滋賀県流域政策局の担当をして大変わかり易くご説明いただきました。

以上、報告とさせていただきます。また、滋賀建設会のホームページについても近況、案内等情報がございますのでご覧いただけます様お願いいたします。

\$\$\$ 計 報 \$\$\$

S36卒 山際 欣次 (H29.1)

ご冥福をお祈りいたします。

\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$

## 編集後記

今回は新会長の挨拶や新入会の皆さんの近況などを載せました。話題があれば提供していただきたいと思

います。

○連絡先・滋賀建設会事務局

kinugasas@iwako.ne.jp

平成28年10月8日に京都タワーホテルにて立命館大学建設会総会・懇親会がおこなわれ100名以上が出席し、滋賀建設会から約10名